

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5 年 10 月 2 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471502686		
法人名	株式会社リブネット		
事業所名	グループホームかざぐるま		
所在地	広島県福山市御幸町上岩成609-1 (電話) 084-691-1200		
自己評価作成日	令和5年8月29日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502686-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3471502686-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年9月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

入居者の皆様が、各ユニットを自らの家庭と感じ安心して、笑顔で暮らしていただけることをモットーに、入居者様主体の生活を送っていただけるよう支援しています。コロナの中で従来のような外出や地域との関わりは持ちにくくなっているため、自宅の暮らしと同様にゆったりとした雰囲気の中で、手作り料理やユニットでの団らんを楽しみ、穏やかに生活していただくことに力を注いでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

利用者一人ひとりが、自宅の暮らしと同様にゆったりとした雰囲気の中で生活する為に、理念に基づいて職員が個人目標を設定し、安心して笑顔が見られるよう情報を共有し、日々ケアに取り組んでいる。利用者の今を知る事で生活歴やアセスメント等を重要視し、目線を合わせて会話するなど本人本位の支援に取り組んでいる。平日を除いて土日、朝夕の食事はユニットごとの厨房で好みの物や旬の物を取り入れた献立を提供し、行事食にはお寿司、手作りおやつ、誕生日ケーキなど、できる範囲内で盆拭きなど楽しみながらの支援を実施している。面会の希望があれば感染症対策を取って、人数や時間を設定して玄関ホールで面会を実施している。長く勤務する職員が多く、資格取得や実績評価など働きやすい環境づくりを実践している。

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所に貼り、スタッフ皆が理念は大切なので意識していくようにと伝えている。	理念に基づいて、事業所を家庭と感じ安心して笑顔で暮らせるよう意識し、月ごとに担当を決め季節ごとの行事をしている。個人も年間目標を掲示し、毎月のミーティング会議や年度末に振り返りを行い、質の向上に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、なかなか利用者と一緒に出掛けたりすることは出来ず、地域の一員としての交流は、出来ていない。	運営推進会議参加者の民生委員からの情報で地域清掃活動の参加や今年の秋祭りには子供神輿が事業所に立ち寄りという情報が得られた。今後も状況を見ながら以前のような買い物や散歩等地域との交流を検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外に出る機会を設けて認知症の方でも色々な事が出来ると言うことを理解してもらいたいと思うが、今は出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、開催している。民生委員、地域包括、他施設、御家族様に参加していただき、話し合い、意見を参考にしている。	運営推進会議は家族、地域包括支援センター職員、民生委員、他法人のグループホーム職員等参加で開催している。状況報告、活動・事故報告等行い、意見交換の場となっている。他法人グループホーム職員よりヒヤリハットの報告を増やす対策をする事で事故が減っていく等の意見があり反映に努めている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。運営推進会議の報告もしている。	市との連携は運営推進会議議事録の送付や介護福祉課に不明瞭な点等を相談し、指導や助言が得られ支援に活かしている。地域包括支援センター職員からの情報など良好な協力関係の構築に努めている。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日頃よりミーティング、勉強会、研修等の中で周知し拘束をしないケアに徹している。	年2回の研修やユニットごとの目標や個人目標を決め、事前にミーティングを行い毎月虐待防止委員会を開催している。その中でどのような事が身体拘束に繋がるか職員が知識を習得し、チェックリストを活用し身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	月に1回虐待防止委員会を開催している。その中で全事業所が集合し話し合いをしている。日常ケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修の中で周知し虐待に対する意識を高め防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	必要とされ利用されている入居者の方はおられる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	ご本人の希望等について事業所では対応出来る事、出来ない事等について、必要な時に家族、本人と事業所が話し合い、契約時に納得した上で利用してもらっている。それ以後も説明して家族に納得をしてもらっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、家族会ができず、面会時に日頃の生活の様子等をお伝えし、ご家族さんからのご要望を聞いている。	電話や一筆添えた毎月の便りの送付、事前の電話予約で、面会規制のある中で人数や時間を設定して玄関での面会時等で意見や要望を聞く機会を設けている。食事のトロミ剤使用の際に家族への確認等細かな事にも連絡している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全事業所の管理者が集合し毎月管理者会議を行いまた、グループ管理者会議、各ユニットでのミーティングの中で意見交換や提案等を話し合う場を設けている。</p>	<p>ユニット会議、主任会議、法人管理者会議等開催し、会議の中での意見交換や個人面談等、いつでも話せるよう環境を整備している。実績の反映や資格取得、研修への参加など職場作りに取り組んでいる。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格取得や実績が給与に反映出来るような仕組みになっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>それぞれのスタッフにあった内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>研修会や勉強会、市が開催している研修会へできる範囲内で参加している。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>利用者の事前情報などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係づくりに努めている。事前訪問が出来るときは、その時に要望を聞いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供出来るように、ご家族の思い心配な事等を話してもらえるような関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人、家族の要望と事業所の出来る事出来ない事を話し合いすり合わせ、要望に応えられない場合は、要望に沿えるようなサービスの紹介をしている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>ご利用者様主体の生活を実践するために、スタッフは入居者の要望をかなえるために存在していることを意識した入居者との関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所で何でもしてしまうのではなく、家族が参加出来る事には極力参加してもらい、あくまでも本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートしていくように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>手紙や電話などを使い関係が途絶えないように支援している。</p>	<p>毎月写真付きの「かざぐるまだより」を送付している。電話の取り次ぎや年賀状、面会制限があるが友人、知人の面会、訪問美容(月1回来訪)等関係の継続の支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う利用者同士は日頃から談話したりして楽しまれている。そうでない方もスタッフが仲立ちして出来るだけ入居者が楽しみながら生活出来るような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	亡くなられた方の葬儀に参列をしている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者の思いや、意向を把握しやすい入浴時や食事の時、何気ない会話の中からくみ取り、職員間で話し合い連携を取りながら、一人ひとりにあった支援に繋がっている。把握が困難な入居者には、ジェスチャーを交える等して把握に努めている。	毎日の申し送り時、ライフチャート(経験した出来事を表した図)の確認や目線を合わせてゆっくりと分かりやすい声掛け、時には筆談やジェスチャー等何気ない会話の中で把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話や面会時に家族の方から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	日頃の過ごし方や、心身状態把握だけでなく、夜勤者よりの朝の申し送りや、ライフチャートなどでその日の生活状態を確実に把握し、全スタッフが共有出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者などの意向を踏まえた計画を担当職員、チーム職員の話し合いにより作成し、関係者全員で計画に沿ったサービスが出来るようにしている。</p>	<p>利用者、家族の要望、利用者担当職員の情報を主任が集約し、介護支援専門員が介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを行いミーティング会議を開催し、関係者の意見や提案を反映した介護計画を作成している。体調の変化があれば見直しを行い現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>時系列に沿った生活記録(ライフチャート)こまめに記録を利用し勤務交代時の申し送りなどで情報の共有をしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>コロナ禍が落ち着いてきたが、地域の祭りや、文化祭、催しなどの行事に参加出来ていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医が定期的に往診しており、通院は事業所に対応しているが、必要に応じて家族も同行している。入居者、家族希望で馴染みのかかりつけ医を選ぶことも出来る。</p>	<p>契約時に利用者、家族に説明を行い主治医を事業所の協力医に変更している。事業所へは月2回の訪問診療(個別には月1回の訪問診療)である。専門科の受診は家族の協力を得ている。初回受診は看護師が同行している。必要時には訪問歯科の診療支援が出来る。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師や看護職員にいつでも相談出来る体制が整っており、気になる事、些細な事でも相談にのってもらっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の経過を情報提供していただき、病院との関係を密にし少しでも早期に退院出来るようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	出来るだけ早期から話し合いの機会を作り、方針の統一を図りながら事業所が対応しうる、最大の支援方法を踏まえてチームで取り組んでいる。入居者や、家族のニーズを組み取りながら体制を整えていく努力もしている。	契約時「看取り介護についての同意書」を説明し確認をしている。重度化した場合、家族、医師、職員等関係者で話し合い意識統一を図り方針を決め、医療連携体制も整っている。家族には本人の意識があるうちに面会ができる対応や研修やマニュアルを作成しチームで取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的に救命救急講習を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得ながら、火災、地震、水害など各災害に備え、昼、夜いつでも入居者が安全に避難できるよう訓練内容、回数を充実している。	年2回夜間想定訓練や建物1階のデイサービスと合同で行っている。訓練時に近隣に声掛けを行っている。訓練は出火場所を特定し一時避難場所へ利用者と共に避難や水消火器の実施や訓練後の反省を行っている。日頃から夜勤者が22時に防火チェックを行っている。米、食料品等1週間分の備蓄を用意している。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室への入室の同意を得たり、入居者の呼称、声掛けトイレ誘導など日頃の支援の中で、一人ひとりを尊重しプライバシーに配慮するようスタッフで意識し対応している。	接遇の研修を実施している。人格を尊重し、目線を合わせ、ゆっくりと分かりやすい声掛けやトイレ誘導等誇りやプライバシーを損ねないよう配慮し、職員が意識して実践している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者様の要望を少しでも多くくみ取れるように努め本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフに対して入居者さんの希望を知ったらすぐに行えるようにどうすれば実行できるか考えるようにという意識で支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	入居者さんの希望に沿えるように訪問美容室を利用して、またその日に着る服も入居者さんと相談して選んでいる。身に着けたいものがある時には家族に連絡し協力を得ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	可能な食事準備や後片付けなどを入居者様が手伝えるところは、手伝ってもらい、入居者様の希望するメニューを取り入れたり楽しい食事になるように工夫し支援している。	月～金の昼食はデイサービスの厨房で調理した食事を提供している。朝夕、土日は各ユニットの厨房で調理している。行事食、手作りおやつ、誕生ケーキ等食を楽しむ支援をしている。医師との相談でトロミの必要な利用者はトロミ剤で食事形態を変える等工夫している。盆拭き等職員と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握できるようにしている。食べられない時には食べられる物を少しずつでも食べてもらえるような援助をしている。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>食後に声掛けを行い介助が必要な方には介助している。口腔に異常がある方には、訪問歯科にお願いし、診てもらっている。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、一人ひとりに合わせた援助を心がけている。</p>	<p>トイレはユニットに3ヶ所、手すり等も設置している。個々の排泄パターンを把握し、食事前後の声掛けや個々に対応した声掛けでトイレで座位姿勢での排泄に繋げている。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>排便の間隔を把握し個別の状態により医師の指導のもと、下剤や浣腸の使用を行っている。予防としては、水分摂取量に気をつけたり腹部マッサージ運動などを取り入れている。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>入浴者一人ひとりの習慣や希望を把握し、それを活かしながら本人と家族の安心と満足できる安全な入浴、体調の改善、入浴面での本人の力の発揮などにつなげている。</p>	<p>基本週2回、個々の体調や習慣に合わせて柔軟に対応している。冬場は温度差のないよう電気ストーブや浴室には手すり、すべり止めマット等安全に入浴出来るよう配慮している。同性介助や入浴剤、入浴後の保湿剤塗布や着替えは職員と選ぶなど、入浴を楽しむ支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間、起床時間は、決まりではなく入居者さんのリズムで生活されている。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬情報を各入居者さんごとに管理し、スタッフが確認出来るようにしている。往診受信時に聞いた注意事項に関しては、往診受信ノートに記入し全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	コロナ禍が落ち着いてきたが、外出が出来ていないので、施設内での趣味活動が出来るようにしている。日常の家事などを手伝ってもらった場合などには、スタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いが持てるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍が落ち着いてきたが、外出は出来ていないので、施設内の木々や花などで季節を感じるようにしている。	外出はほとんど出来ていないが、建物内から見下ろす中庭の木々や季節の花等で季節を感じている。受診時に車の往来や周りの景色など楽しんでいる。今は出来ていないが、天気の良い日に気分転換に散歩等検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人での金銭管理はしていない。家族の方から預かったお小遣いは各ユニットの金庫で管理しているが使いたいときにはいつでも出せるようになっている。		

自己評価	外部評価	項目(こもれび)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>特に制限はない。入居者がかけたいときにいつでもかけられるようになっている。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共用の空間には、入居者の共同作品や季節の花などを飾り、明るい雰囲気になるように心がけている。入居者が作品作りや洗濯たたみなどの活動する場所となっている。</p>	<p>温度、湿度管理や換気等感染症対策をしている。ユニットごとに壁面や飾り付けは異なっているが季節を感じる事が出来るよう工夫している。カレンダーに行事報告や折り鶴作品、レクリエーションの風船バレーを楽しむ等寛いで過ごせるよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングの中のさまざまな場所にテーブルやソファがあり好きな場所で過ごせるようになっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>居室には馴染みのものを持ち込んだり仏壇を置かれる方もおられる。入居者の作品、季節の花など思い出の物でその人らしく暮らせる部屋となっている。</p>	<p>エアコン、ベット、収納庫が設置してある。自宅で使い慣れた物、大切な物等持参している。花や仏壇、テレビ等動線に支障のないよう思い思いに居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>各入居者さんの個室、お風呂トイレなどわかりやすいように工夫している。</p>		

V アウトカム項目(こもれび) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務室内に貼り、スタッフ全員が意識して勤務にあたるようにしている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	コロナ禍だったこともあり、スーパーへの買い物や外出や散歩などは中止していた。落ち着いてきているが、感染のリスクが高いため再開していない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	コロナ禍だったこともあり、なかなか交流はできていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、開催している。民生委員、地域包括、他施設、ご家族様に参加していただき、話し合い、意見を参考にしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。運営推進会議の報告もしている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	現在、身体拘束はない。 年2回の研修をし、身体拘束ゼロに取り組んでいる。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。	虐待防止委員会を月1回開催している。虐待防止委員が中心となり、チェック表を用いて個々を振り返り、ミーティングなどで話し合いをしている。研修や勉強会にも取り組んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	現在、成年後見人制度を利用している方が複数おられる。本人様やご家族様が納得した上で利用している。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をまず入居時及び契約時に説明し納得してもらっている。その後も必要ときに家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、家族会ができず、面会時に日頃の生活の様子等をお伝えし、ご家族さんからのご要望を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全事業所の管理者が集合し毎月管理者会議を行い、また、グループ管理者会議、各ユニットでのミーティングの中で意見交換や提案等を話し合う場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会や勉強会、市が開催している研修会へできる範囲内で参加している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	利用者の事前情報や事前訪問などで現場のスタッフとも安心して要望が言い合えるような関係作りに努めている。		

自己評価	外部評価	項目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえようような関係作りをしている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人、家族の要望と事業所の出来る事出来ない事を話し合いすり合わせ、要望に応えられない場合は、要望に沿えるようなサービスの紹介をしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	入居者様主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者様の要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者様と暮らしを共にする関係作りをしている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加出来る時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	手紙や電話などを使い関係が途切れないように支援している。		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気のあう利用者同士は日頃から談話したりして楽しまれている。そうでない方もスタッフが仲立ちして出来るだけ入居者が楽しみながら生活出来るような関係作りをしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	亡くなられた方の葬儀に参列している。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの思いや希望を日々の言動からくみ取り、どうしたら希望にそえるかを考えている。ミーティングでも検討している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常の会話や面会時に家族の方から情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り(申し送りノート)などを活用し、その日の生活状態を確実に把握し、全スタッフが共有出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者などの意向を踏まえた計画を担当職員、チーム職員の話し合いにより作成し、関係者全員で計画に沿ったサービスが出来るようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ライフチャートや申し送り（申し送りノート）などを活用し、その日の生活状態を確実に把握し、全スタッフが共有出来るようにしている。また、ミーティングなどで話し合っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>地域の行事や催し物などには参加できていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>協力医が定期的に往診しており、通院は事業所に対応しているが、必要に応じて家族も同行している。入居者、家族希望で馴染みのかかりつけ医を選ぶことも出来る。</p>		

自己評価	外部評価	項目(せせらぎ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師や看護職員にいつでも相談出来る体制が整っており、気になる事、些細な事でも相談にのってもらっている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院中の経過などの情報提供をしてもらい、病院との関係を密にし少しでも早期に退院出来るようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	出来るだけ早期から話し合いの機会を作り、方針の統一を図りながら事業所が対応しうる、最大の支援方法を踏まえてチームで取り組んでいる。入居者や、家族のニーズを組み取りながら体制を整えていく努力もしている。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的に救命救急講習を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得ながら、火災、地震、水害など各災害に備え、昼、夜いつでも入居者が安全に避難できるよう訓練内容、回数を充実している。		

自己評価	外部評価	項目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	入室時の声かけや同意、入居者の呼称、声掛けトイレ誘導など日頃の支援の中で、一人ひとりを尊重し、プライバシーに配慮するようスタッフで意識し対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常会話の中で入居者様の要望を少しでも多くくみ取れるように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	入居者様の希望をどうすれば実行できるかを意識し、できるだけ希望にそえるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容室を利用して頂いている。利用者様の希望をききながらして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	入居者様の希望のメニューを作ったり、お盆ふきなどできることをして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス，水分量が一 日を通じて確保できるよう，一人ひと りの状態や力，習慣に応じた支援をし ている。	1日の食事量、水分量は記録を見て全 スタッフが把握出来るようにしている。 個々の状態に合わせて、声かけや介助を している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	個々に合わせて、食後に行っている。液 体歯磨きや歯ブラシでは難しい方はハミ ングッドなども利用している。口腔に異 常がある方には訪問歯科にお願いし、診 てもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン，習 慣を活かして，トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、一人ひと りに合わせた援助を心がけている。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲 食物の工夫や運動への働きかけ等， 個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の間隔を把握し個別の状態により医 師の指示のもと、下剤も使用している。 水分摂取量に気をつけたり、野菜不足に ならないように汁ものに野菜を多めに 入れるなどの工夫をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように，職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に，個々に応じた入浴の支援をして いる。	一人ひとりの習慣や希望を把握し、個々 に合わせて安楽で安全な方法を検討し、 援助している。		

自己評価	外部評価	項目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	就寝時間、起床時間は特に決まりはないが、入居者さんのリズムで生活している。		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	薬情報を各入居者さんごとに管理し、スタッフが確認出来るようにしている。往診受信時に聞いた注意事項に関しては、往診受信ノートに記入し全スタッフが薬についての確認ができる体制になっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	できる方には、日常の家事などを手伝ってもらっている。スタッフが感謝の気持ちを伝え張り合いが持てるようにしている。		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	コロナ禍以降、外出はできていない。		
50		○お金の所持や使うことの支援  職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人での金銭管理はしていない。家族の方から預かったお小遣いは各ユニットの金庫で管理しているが使いたいときにはいつでも出せるようになっている。		

自己評価	外部評価	項目( せせらぎ )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	特に制限はない。入居者がかけたいときにいつでもかけられるようになっている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品、季節の花等を飾っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	各入居者さんの個室、お風呂トイレなどわかりやすいように工夫している。		

V アウトカム項目( せせらぎ ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念を事務所に貼り、スタッフ皆がいつでも見えるようにしている。理念は大切なので意識していくようにと伝えている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	以前は、入居様と一緒にスーパー（ハローズ等）へ、食材を買いに行っていたが、現在はできていない。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	外に出る機会を設けて、認知症の方でも色々なことが出来るということを理解してもらいたいと思うが、今は出来ていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月に1回、開催している。民生委員、地域包括、他施設、ご家族様に参加していただき、話し合い、意見を参考にしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	日頃の不明な点などは、市担当者へ相談し連携をとっている。運営推進会議の報告もしている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	日常のケアの中でミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、拘束をしないケアに徹している。どのようなことが身体拘束になるのかをスタッフに周知する必要がある。		
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	日常のケアの中で主任を中心にミーティング、勉強会、研修等の中で周知し、虐待に対する意識を高め防止に努めている。主任は、不適切なケアに繋がるような行為があった時は、注意を促している。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	本人の希望、家族の希望等について、事業所では対応出来る事、出来ない事等について契約時に限らず、必要な時に家族、本人と事業所が確認し合い、納得した上で利用してもらっている。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事を契約時に限らず、必要となときに家族、本人と事業所が確認し合い納得した上で利用してもらっている。		
10	6	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	コロナ禍が落ち着いてきたとはいえ、家族会ができず、面会時に日頃の生活の様子等をお伝えし、ご家族さんからのご要望を聞いている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	全事業所の管理者が集合し毎月管理者会議を行いました、主任会議、各ユニットでのミーティングの中で意見交換や提案等を話し合う場を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	資格取得や実績が給与に反映できるような仕組みになっている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	スタッフの経験に応じた内容の外部研修への参加を行っている。法人内の勉強会を開催し勉強している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会や勉強会、市が開催している研修会へできる範囲で参加している。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前の事前訪問などで、現場スタッフも安心して要望が言えるような関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>要望に沿ったサービスを提供できるように家族の思い、心配ごとなどを話してもらえよう関係作りをしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人の希望、家族の希望を事業所で出来る事出来ない事をすり合わせ、要望に答えられない場合には要望に沿えるようなサービスを紹介している</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>入居者様主体の生活を実践していく為にスタッフは入居者さんの要望を叶える為に存在していることを意識し、入居者さんと暮らしを共にする関係作りをしている。</p>		
19		<p>○本人と共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>事業所がすべてしてしまうのではなく、家族が参加出来る時には参加してもらい本人と家族の関係を最優先にし、家族では補いきれない部分を事業所がサポートするように努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>手紙や電話などを使い関係が途切れないように支援している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	気の合う入居者同士で話しをされたりと好きにしてもらっている。単独での行動が多い方には不満が出ない程度に他の方と交流が出来るようにスタッフが仲立ちしたりし、入居者同士が楽しみながら生活でき交流できるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	亡くなられた方への葬儀に参列している。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの要望を把握し、どうしたら実践できるかをいつも考え実行している。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	日常での本人の会話、面会時の家族との会話で情報を得ている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	ライフチャートや申し送り等で全スタッフが情報を共有できるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>入居者様などの意向を踏まえた計画を担当職員、チーム職員の話し合いにより作成し、関係者全員で計画に沿ったサービスが出来るようにしている。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>ミーティングで話し合ったり、ライフチャートを利用しこまめな記録と勤務交代時の申し送り等で情報を共有している。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>その都度、本人、家族、事業所で話し合い、可能な限り実現できるように取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>以前は、地域の祭りや催し物の行事へ参加していたが今は、できていない。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>何かあればいつでも相談受診できる体制になっている。事業所の協力病院以外にも本人、家族が希望するかかりつけ医を利用している。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	協力病院の看護師さんや看護職員に、いつでも相談できるように体制が整っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には病院との連携を密にし、すこしでも早期に退院できるようにしている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	家族、医師、事業所で話し合う機会を設け、事業所でできることを本人と家族の要望をすり合わせながら最期まで生活できるように支援している。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時のマニュアルを準備している。定期的に救命救急講習を受けている。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の職員指導の下に避難訓練を定期的に行っている。災害時の地域との協力体制はとれていない。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	居室への入室の声かけや同意を得たり、入居者様の呼称、声かけ、トイレ誘導など日頃の支援の中で、一人一人を尊重しプライバシーに配慮するようスタッフで意見し対応している。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	日常生活の中で、入居者様の要望を少しでも多く汲み取るように努め、本人が思いを言える環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	スタッフは、入居者様の希望が分かたら即実行できるか考えることを基本とし、支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	訪問美容室を利用して頂いている。入居者様の希望を聞きながらして頂いている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の会話の中から入居者様の好きな食べ物を聞いて提供している。昼食時には、一緒に食事をしている。下膳が出来る方にはして頂いている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	一日の食事量、水分量は記録を見て全スタッフが把握出来るようにしている。個々の状態に応じて食べれない時には食べられる物を少しずつ食べて頂くよう援助している。		
42		○口腔内の清潔保持  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	食後に声掛けを行い介助が必要な方にはスタッフが誘導して行っている。入れ歯が合わなくなったり、口腔に異常がある方には訪問歯科にお願いし、診てもらっている。		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	個々の排泄パターンを把握し、一人一人に合わせた援助を心掛けている。トイレに行きたいと言われたら、すぐに対応している。		
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	排便の間隔を把握し個々の状態により医師の指導の下、下剤の使用行っている。予防としては、水分摂取量に気をつけたり、便秘に良い食事を考えたり、腹部マッサージ等を取り入れている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	一日3人ずつ、入ってもらっている。一週間に2回は必ず、入れるようにしている。安全に入浴できるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>就寝時間、起床時間は特に決まりはないが、入居者様のリズムで生活して頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>処方箋説明書をいつでもスタッフが確認できるようにしている。往診、受診時に聞いた注意事項に関しては、往診ノートに記入するようになっており、全スタッフが薬についての確認が出来る体制になっている。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>一人ひとりの好みを理解して、得意なことを生活に生かせるように心がけている。洗濯物を干されたり、たたんだり、お盆拭きなど積極的にしてくださっている。風船バレーなどをして身体を動かすことも楽しみにされている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>コロナ過になってから、外出はできていない。家族、スタッフとの外食、お墓参り等、今までできていたことができるように努めていきたい。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>各個人での金銭管理はしておらず、各ユニットの事務所に金庫を設け管理しているが、使いたい時に使えるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(かがやき)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	好きな時に電話をしたり、年賀状を書いたりしている。		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	季節の花を飾ったり季節ごとにユニット内の飾りを変えたりと季節感が味わえるようにしている。		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	好きな時に好きな場所で過ごせるようにしている。		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	使い慣れた家具等を持ち込んでもらっている。家族の写真や自分で作った作品等を飾っている。		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	各入居者様の個室、トイレ等わかりやすいように表示している。		

V アウトカム項目( かがやき ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/>	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/>	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームかざぐるま

作成日 R5年11月12日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の参加者が偏っている。	いろいろな方に声掛けする。	町内会長様等に声掛けする。他の家族様にも声掛けする。	2ヶ月
2	3	運営推進会議の議事録の事故報告に対策とその後の対応の記入が欲しい。	事故報告に対策とその後の対応を記入し日々の介護に生かす。	事故報告の対策と対応を職員が共有して介護にあたる。	3ヶ月
3	3	運営推進会議の議事録を全入居者家族様に送付してはどうか。	運営推進会議の内容を全入居家族様に知らせる。	運営推進会議で話し合った内容を「かざぐるまだより」に載せ全入居家族様に送付する。	3ヶ月
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。